

# 一次評価書への委員意見 まとめ

湖西市バス運行評価改善委員会 一次評価書 (湖西市地域公共交通網形成計画及び路線別の評価)

定量的な評価基準については、形成計画 P106 を参考に1便当たりの乗車人数や、OD 調査の結果を参考に総合的に判断した。特にコーちゃんバスの路線については路線毎に一定の基準(1便当たりの最低乗車人数=2人)を設けより詳細に効果的な運行、再編を目指していく。

※自己評価の三段階評価

A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著 B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない

事業名	事業内容	自己評価(効果達成状況)		妥当性の評価				修正案
公共交通軸	①東海道本線 ・現行サービス水準での運行【継続】(H29～H33 実施)	-	サービス水準を維持して運行を継続している。	/	/	/	/	
	②天竜浜名湖線 ・現行サービス水準での運行【継続】(H29～H33 実施)	-	サービス水準を維持して運行を継続している。	/	/	/	/	
	③浜名線 ・現行サービス水準での運行【継続】(H29～H33 実施)	B	事業者が効率化を行い運行を継続している。 (詳細は別紙のとおり)	○ 6	△	×	— 1	
	④県境を越える新設路線 ・新設路線の検討 (H29～H33 検討)	B	近隣市町との情報交換を実施した。路線再編に併せて検討を行う。	○ 7	△	×	—	
拠点内巡回・拠点アクセス	①コーちゃんバス ・現行サービス水準での運行【継続】 (H29～H31.9 実施)	B	サービス水準を維持して運行を継続している。 (各路線については別紙のとおり)	○ 7	△	×	—	
	・路線の再編 (H29～H31.9 検討)(H31.10～実施)	B	デマンド型交通なども踏まえて路線の再編を検討している。	○ 7	△	×	—	
	・運賃体系の見直し (H29～H31.9 検討)(H31.10～実施)	B	整合性のとれた運賃体系を検討している。	○ 7	△	×	—	高齢者・通学を考慮した料金を。

	②自主運行バス浜名線 ・現行サービス水準での運行【継続】 (H29 実施、H30～H31 検討)	B	サービス水準を維持して運行を継続している。	○ 7	△	×	—	
	・路線の再編 (H29～H31.9 検討)(H31.10～実施)	B	H30 年からコーちゃんバスへ移行する。	○ 5	△ 1	×	— 1	B から — ではないか
	・運賃体系の見直し (H29 検討)(H30～実施)	B	H30 年からゾーン制運賃に統一する。	○ 5	△ 2	×	—	— ではないか。コーちゃんバスに比べて料金に対する不満を持つ利用者の割合が多いことから、慎重な対応をするべき。
地域 フ ィ ー ダ ー	①導入検討路線 ・導入に向けた検討(H29～H31.9 検討)	B	一部の地域において導入に向けた検討を実施している。	○ 7	△	×	—	
	・実証実験 (H29.12～H30.9 実施)	B	H30 年 3 月から実施する。	○ 6	△ 1	×	—	
	・本格運行(地域との合意を得る) (H29.9～H33 検討)	B	実証実験と併せて本格運行に向けた検討を行う。	○ 7	△	×	—	
タク シ ー	①タクシー ・公共交通としての機能・役割に応じた適正なサービスの提供 H29～H33 実施	B	問題なく運行を継続している。 <b>サービス水準を維持して運行を継続している。</b>	○ 7	△	×	—	
乗 継 環 境 の 整 備	①乗継拠点や主要なバス停の乗継環境整備 ・拠点駅や主要なバス停での乗継利便性の向上 (H29 検討)(H30～H33 実施)	B	車内やイベントにおいて乗継案内チラシを作成し情報提供している。	○ 6	△ 1	×	—	チラシ(文字による啓発)だけに頼ることなく、高齢者にも身に着けやすい方策を取り入れて下さい。乗継の時間の余裕があった方がよい。 — ではないか。
公 共 交 通 に 関 する わ かり や す い 情 報 を 提	①公共交通利用に係る積極的な情報提供 ・バス停(コーちゃんバス)の案内表示の多言語化の実施) (H29 検討)(H30～H33 実施)	B	H30 年度以降の実施に向けて検討していく。	○ 6	△ 1	×	—	多言語化は否定しませんが、外国人の利用実態に即しての提案でしょうか。運転手の聞き取り調査などで実態を把握したいものです。
	・公共交通マップの企画・作成・見直し (H29～H33 実施)	B	H29 年度計画推進事業において実施を予定している。H29 年 12 月予定。	○ 7	△	×	—	

供する事業	・バス利用啓発ポスターの企画・作成・見直し (H29～H33 実施)	B	H29 年度計画推進事業において実施を予定している。H29 年 12 月予定。	○ 7	△	×	—	
	②分かりやすい運行情報・乗継情報の提供 ・公共交通マップへのわかりやすい乗継情報の掲載等 (H29～H33 実施)	B	H29 年度計画推進事業において実施を予定している。H29 年 3 月を予定。	○ 5	△ 2	×	—	わかりやすいと一括りにせず、もう少し具体的な表現はできないでしょうか。例：「簡潔でみやすい」「丁寧な説明で理解しやすい」では、意味が正反対です。
	・拠点駅におけるバス乗り場の案内表示の設置 (H29 検討)(H30～H33 実施)	B	H30 年以降の実施に向けて検討している。	○ 6	△ 1	×	—	B から — 評価ではないか。
	・主要施設や主要バス停でのバスロケーションシステムの検討 (H29～H31 検討)(H32～H33 実施)	B	H32 年以降の実施に向けて検討している。	○ 4	△ 2	×	— 1	費用対効果を考えると、導入検討は慎重に行って頂きたい。— 評価ではないか。
公共交通の利用を誘導する事業	①公共交通の割引運賃の導入 ・バスの一日乗放題券等の企画乗車券の導入 (H29～H33 実施)	B	H29 年度計画推進事業において実施を予定している。H29 年 12 月を予定。	○ 6	△	×	— 1	企画乗車券には大きく期待したいですが、現時点では「一日乗り放題」の文字は出さない方がよい。現状の路線からは利用者の目的、層が見えてこないため、実現性が低いと思われる。
	・天竜浜名湖線の小学校入学祝い記念乗車券、敬老記念乗車券の発行【継続】 (H29～H33 実施)	B	天竜浜名湖線の運賃助成を継続している。	○ 6	△	×	— 1	
	②モビリティマネジメントの実施 ・小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催【継続】 (H29～H33 実施)	B	小学生を対象として総合学習の機会に乗り方教室を開催した。	○ 7	△	×	—	こどもだけでは利用が広がらないため、こどもが親を伴ってバスに乗る企画も是非取り入れてもらいたい。
	・公共交通利用促進のための動機付け資料の作成 (H29～H33 実施)	B	H29 年度計画推進事業において実施を予定している。 H29 年 12 月を予定。	○ 6	△	×	— 1	
	・特定地域におけるモビリティマネジメントの実施 (H29～H33 実施)	B	H29 年度計画推進事業において実施を予定している。 H29 年 12 月を予定。	○ 6	△	×	— 1	

	③免許返納者の優遇 ・免許返納者への優遇措置の導入 (H29～H33 実施)	A	H29年4月から運転免許証自主返納等をした市民を対象に2年間のバス無料乗車券を交付している。	○ 6	△	×	— 1	評価は「B」としたいと思います。理由は、事故防止の点では貢献していますが、無料になるだけでは利用促進策としては消極的で不十分と言えるからです。行政の他の機関、商工会等と連携して「バスに乗れば良いことがある」などの積極策と組み合わせ2年経過後も継続利用されるような施策も併せるべきだと考えます
	④観光振興のための公共交通利用促進策の実施 ・観光モデルルートの設定や市内バスツアーの実施 (H29～H31 検討)(H32～実施)	B	H32年度の実施に向けて検討を行う。	○ 6	△ 1	×	—	今後に期待したいと思います。一評価では
バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	①関係機関と連携した取り組み ・市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施 (H29～H32.9 検討)(H32.10～実施)	B	H32年度の実施に向けて検討を行う。	○ 6	△ 1	×	—	是非 実現にこぎつけて頂きたいです。Bから一評価では。
	②地域や企業、学校と連携した取り組み ・バス停周辺における環境整備、清掃、緑化など (H29～H33 実施)	B	各種利用促進策を実施した。 (詳細は別紙のとおり)	○ 7	△	×	—	
	・夏休み小学生50円バスの継続実施【継続】 ・中学校卒業予定者を対象とした利用啓発活動の継続実施等 (H29～H33 実施)	B	夏休み小学生50円バスをはじめ、各種利用促進策を実施した。(資料1-2に記載)	○ 6	△ 1	×	—	評価は「A」としたいと思います。 中学校卒業者に着目したところと、一校を除き夏休み前に小学生対象の「乗り方教室」を開催したことは相乗効果をもたらす評価できます
	③交通事業者と連携した取り組み ・バスの日イベントでの啓発活動の実施 等 (H29～H33 実施)	B	交通事業者と協力して公共交通に関する利用啓発を実施した。(資料1-2に記載)	○ 7	△	×	—	
	④コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組み ・コーちゃんバスイメージアップの推進、企画乗車券の企画 等 (H29～H33 実施)	B	小学生乗り方教室をはじめとする、利用促進策への参加、改善点の提案を実施した。 (資料1-2に記載)	○ 5	△	×	— 1 1	評価は「A」としたいと思います 今後も市民の中にサポーターの輪が広がることを期待します

多様な 主体に よる取 り組み	湖西市地域公共交通会議の継続的開催【継続】	B	継続実施	○ 6	△	×	— 1	
	湖西市バス運行評価改善委員会の継続的開催【継続】	B	継続実施	○ 6	△	×	— 1	
	コーちゃんバスを上手に利用する会の立ち上げ・継続的開催	B	平成 29 年に立ち上げ、現在は 2 回開催、継続開催する予定。	○ 5	△	×	— 1	評価は「A」としたいと思います 今後も市民の中にサポーターの輪 が広がることを期待します

コーちゃんバス一次評価書(コーちゃんバスや、各路線別の評価)

1. コーちゃんバス全般について

一次評価 (市自己評価)			評価委員記入欄					
			妥当性		コメント			
評価できる点	運転免許証自主返納等をした方に対しコーちゃんバス、自主運行バス浜名線の無料乗車券を発行している。バスの利用促進や交通事故防止の施策の一つとなっている。		B	○	△	×	—	
	人口減少などの状況下においても市内のバス利用者を維持している。平成28年度 102,054人→平成29年度 102,789人			○	△	×	—	
改善が必要な点	湖西市地域公共交通網形成計画で抽出した課題を基本方針に沿って解決していくことで、交通将来像の達成及び公共交通ネットワークを実現していく。			○	△	×	—	減便はコストカットのためには必要です。最終便の減便では、朝だけしか利用できなくなる人に対する救済・優遇措置(例：片道定期券)を同時に取り入れることで朝だけの利用者をつなぎとめる、あるいは増加につなげることができると考えます。慎重に進めて下さい。時間帯をより精査し。ダイヤを検討頂きたい。
	各路線利用者が少ない(1便当たり2人の乗車に満たない)便について、改善する必要がある。			○	△	×	—	
			○	△	×	—	2	

2. 路線別評価

路線名	一次評価 (市自己評価)		評価委員記入欄					
			妥当性		コメント			
白須賀新居鷲津線	評価できる点	乗り継ぎやバス停が遠いなどの一部の交通が不便な地域において、地域住民と地域フィーダーの検討を行い実証実験(デマンド型交通)を実施する。	B	○	△	×	—	
	改善が必要な点	冗長な路線であることから、地域住民の移動ニーズや実態を把握し、路線改善(乗り継ぎなど)を行う必要がある。		○	△	×	—	
白須賀鷲津線	評価できる点	平成28年度と比較して利用者が前年比9.8%増加している。13,829人→15,179人(+1,350人)	B	○	△	×	—	
	改善が必要な点	—		○	△	×	—	

路線名	一次評価（市自己評価）		評価委員記入欄					
			妥当性		コメント			
白須賀 岡崎線	評価で きる点	乗り継ぎやバス停が遠いなどの一部の交通が不便な地域において、地域住民と地域フィーダーの検討を行い実証実験（デマンド型交通）を実施する。	B	○	△	×	—	
		平成 28 年度と比較して利用者が前年比 11.7%増加している。9,874 人→11,027 人(+1,153 人)		5			1	
	改善が 必要な 点	白須賀元町地区からの新所原方面への移動のため、白須賀新居鷺津線との接続を改善する必要がある。		5	○	△	×	
岡崎 循環線	評価で きる点	—	B	○	△	×	—	
	改善が 必要な 点	利用者は昨年度よりも更に減少。知波田地区や入出地区からの病院利用が主目的であるが、早急に潜在的な需要を把握する必要がある。		4	○	△	×	
岡崎 鷺津線	評価で きる点	平成 28 年度と比較して利用者が前年比 6.9%増加している。14,771 人→15,790(+1,019 人) 路線全体を通して利用がある路線である。	B	○	△	×	—	
	改善が 必要な 点	—		6	○	△	×	

路線名	一次評価（市自己評価）			評価委員記入欄				
				妥当性		コメント		
知波田 鷺津線	評価で きる点	J A湖西北支店での乗り継ぎ環境が、継続、維持されている。	B	○	△	×	—	
	改善が 必要な 点	1 便の通学以外の利用があまりない。J R 鷺津駅への通学通勤の利用ニーズを把握する必要がある。		6	6	1	1	
鷺津循 環線	評価で きる点	鷺津地区の住民の移動手段として利用されている。	B	○	△	×	—	
	改善が 必要な 点	—		6	6	1	1	
浜名線	評価で きる点	入出地区から鷺津地区への移動の手段として定着しており、路線の維持のためコーちゃんバスへの移行を予定している。	B	○	△	×	—	
		日ノ岡下の南交差点の乗り継ぎ時における安全確保のため、10 月から運行経路とバス停位置の変更を実施した。		6	6	1	1	
	改善が 必要な 点	—		6	6	1	1	

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加

3. 運営・運行主体(利用促進など)に対する評価※利用促進の一部を抜粋

路線名	一次評価（市自己評価）		評価委員記入欄					
			妥当性		コメント			
利用促進に対する評価	評価できる点	コーちゃんバスを上手に利用する会を発足し、利用者目線での改善提案や利用促進活動を実施した。地域住民が自ら交通を考える場を設ける一歩となった。	A	○	△	×	—	
		実際に利用するバスなどを利用する機会の少ない小学生を対象に、小学校の総合学習の機会に、コーちゃんバスを上手に利用する会と協力して市内4ヵ所で乗り方教室を実施した。		6	1			
		昨年から継続して東三河50円バス実行委員会と連携し、県を跨いで、隣接市と協力した利用促進を実施した。		7			利用促進につながると思います。	
	改善が必要な点	公共交通に関するわかりやすい情報提供のためコーちゃんバスのホームページなどの充実を図る必要がある。		6			1	
その他	評価できる点	バス運行事業者(運行管理者)は、運転手が利用者から聞き取りした内容や、現場で感じた意見、運行状況などを取りまとめ、毎月、市に報告書を提出して、改善につなげている。	B	○	△	×	—	
	改善が必要な点	—		6			1	各企業の送迎バスや、市内に乗り入れているスクールバスの通勤通学利用について、情報交換を行い、連携を図る必要がある。(追加)

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加

## 遠州鉄道路線バス一次評価書（遠州鉄道自己評価）

### 1. 遠鉄鉄道路線バス「浜名線(湖西市系統)」(路線の評価)について

一次評価（自己評価）		評価委員記入欄					
		妥当性		コメント			
評価できる点	新居小学生の登下校便は、継続して利用されている。	B	○	△	×	—	
			5			2	
	収支改善のために下り便の一部区間（西鷲津、本興寺前、湖西市民会館）を降車専用とし効率的運行を図った。		○	△	×	—	
		5			2		
改善が必要な点	日中の通学以外の利用者が減少傾向にある。—ことから、免許証返納者への割引制度を積極的にPRし、路線の維持、継続していく。	○	△	×	—		
		5			2		

### 2. 運営・運行主体(利用促進など)に対する評価

路線名	一次評価（自己評価）		評価委員記入欄					
			妥当性		コメント			
利用促進に対する評価	評価できる点	バスの日イベントを実施した際にバス利用を啓発するためのチラシを協力して配布し、利用を呼びかけ、市内の公共交通事業者としての連携を高めた。	B	○	△	×	—	
				6			1	
		市コミュニティバスや自主運行バスとの乗継に配慮した。		○	△	×	—	
				5			2	
	湖西市高齢者バス券の利用に協力実施している。	○		△	×	—		
	6			1				
	異業種の遠鉄トラベル湖西店で乗車券販売を行っている。(ナイスパスや定期、回数券)	○	△	×	—			
	6			1				
	改善が必要な点	—	○	△	×	—		
		6			1			